

(仮称)道の駅もりおか

運営候補者募集説明会

令和元年12月13日

玉山総合事務所

本日の説明内容

I 盛岡市「道の駅設置計画」の経緯

II 盛岡市 道の駅整備予定地

III 盛岡市 道の駅基本計画の概要

IV (仮称) 道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

V その他



I 盛岡市「道の駅設置計画」の経緯

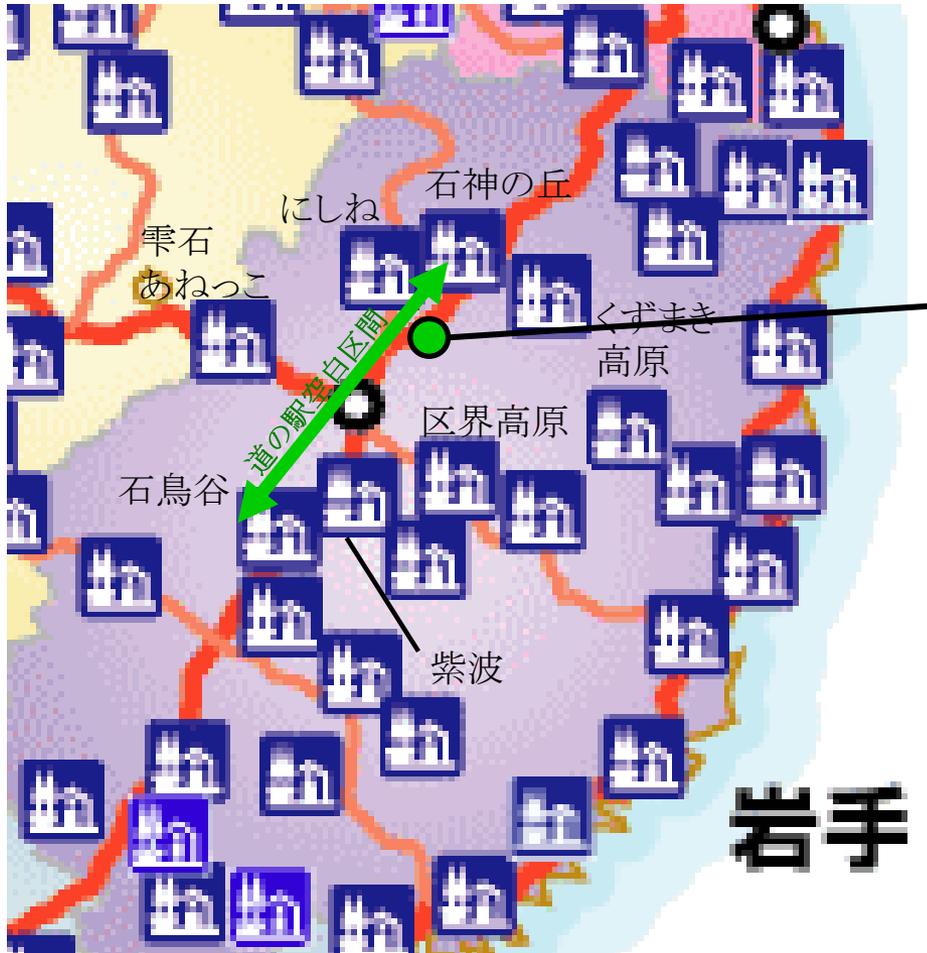
経緯

- ・平成5年度 国道4号渋民バイパス整備計画に合わせ、旧玉山村において事業計画立案
- ・平成7年度 国の道路用地取得と合わせて事業用地を取得
国約7,000㎡，村約5,900㎡（計約12,900㎡）
- ・平成27年4月 国道4号渋民バイパス全線開通
- ・平成27年度 基本構想作成
- ・平成28年
～30年度 住民懇談会・WS・利用者調査・サウンディング型市場調査・パブリックコメント・整備方針検討会等を開催し，基本計画（案）を作成
- ・平成31年3月 盛岡市 道の駅基本計画を策定



II 盛岡市 道の駅整備予定地

II-1 道の駅整備予定地の位置



【事業予定地】

- ・盛岡市渋民字渋民地内
- ・国道4号渋民バイパス沿い
- ・石川啄木記念館近く

【周辺状況】

- ・国道4号 約63kmの「道の駅空白区間」への整備
道の駅「石神の丘」(約16km北)
道の駅「石鳥谷」(約47km南)



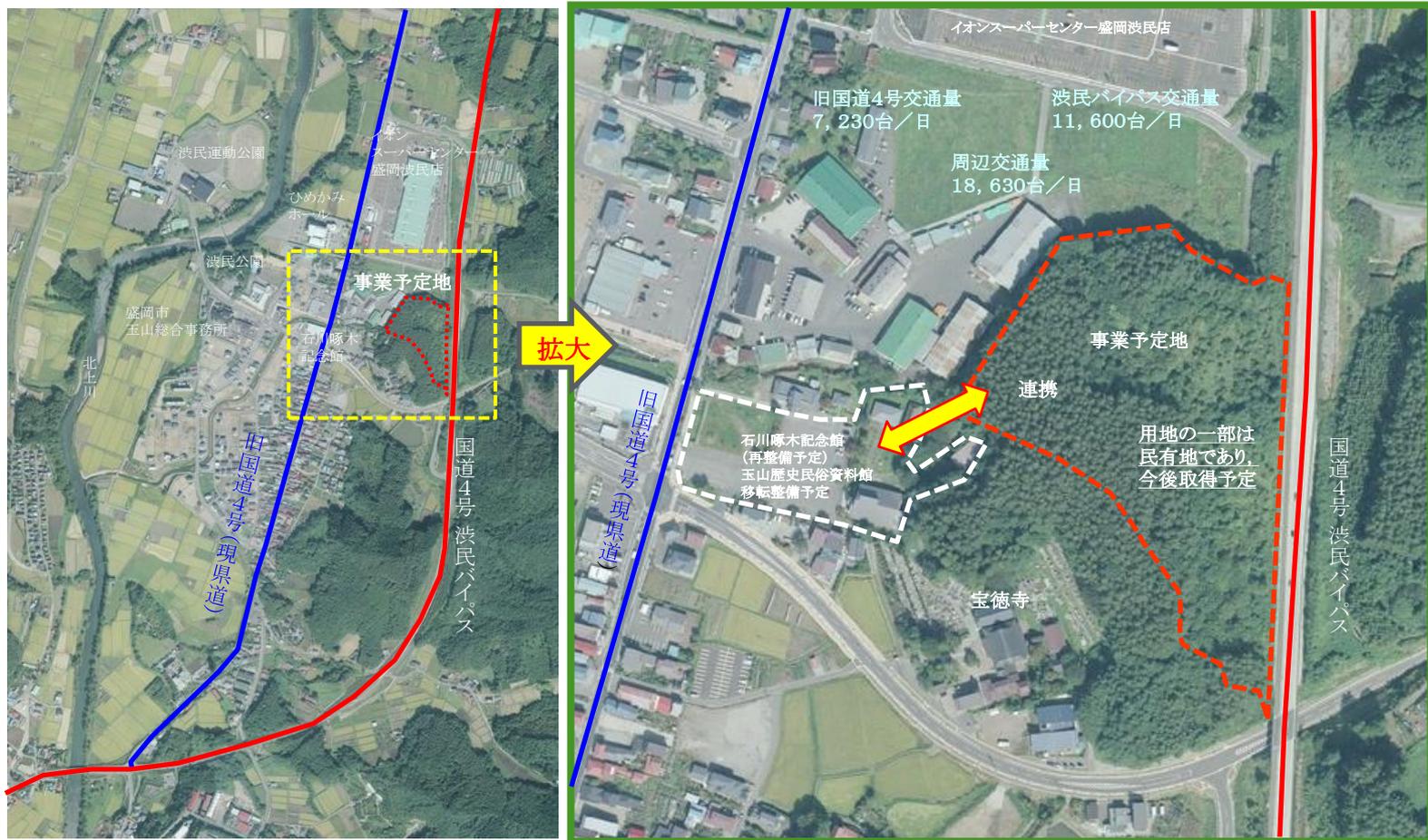
II 盛岡市 道の駅整備予定地

II-2 道の駅整備予定地の位置



II 盛岡市 道の駅整備予定地

II-3 道の駅整備予定地の位置



地理院地図(国土地理院)を利用



IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

1 運営候補者募集の趣旨 (1)

道の駅をめぐる現状

- ・ 道の駅は、全国的に、産直や物販などの地域連携機能を中心に、地域ごとに特色を活かした経営が行われています。
- ・ また道の駅は、他の公共施設と比べ、設計や運営に対する自由度が非常に高い施設であります。
- ・ 基本計画に掲げているとおり、如何に「徹底した“差別化戦略”」を取るかが道の駅の成否を握っています。

課題解決のための手法

- ・ 市は従来の手法によらず、設計に先立ち将来的に指定管理者に指定することを前提に、運営候補者を早期に公募・選定します。
- ・ 民間が有するノウハウやスキルを取り入れながら、道の駅の設計、建設、開業準備等を行うこととするものです。



IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

1 運営候補者募集の趣旨 (2)

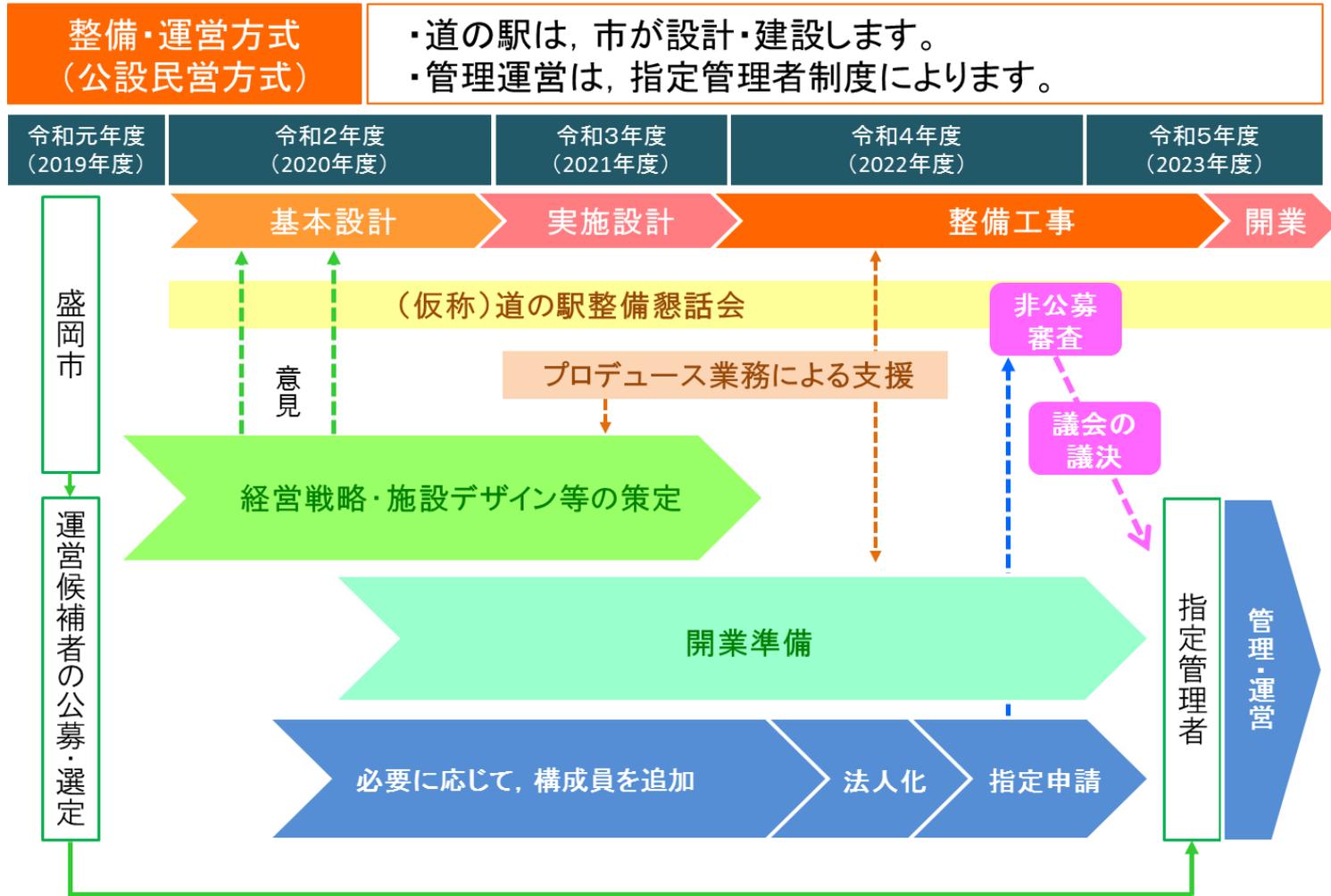
運営候補者に期待するもの

- ▶市と一体となった道の駅づくり (道の駅づくりのパートナー)
- ▶運営候補者のノウハウや創意工夫を生かし、他の道の駅との差別化による、盛岡・玉山らしさのある、特徴ある道の駅づくり
- ▶地域資源や伝統文化、眺望などを生かし、利用者や市民に愛される道の駅づくり
- ▶地域や地元事業者、施設との連携や連携の仕組みづくりを通じた地域振興への貢献
- ▶民間事業者の自由な発想や工夫による、盛岡・玉山の道の駅ならではのオリジナリティあふれる商品やメニュー、サービスの企画・開発
- ▶自立・持続可能な経営，管理体制の構築 etc…



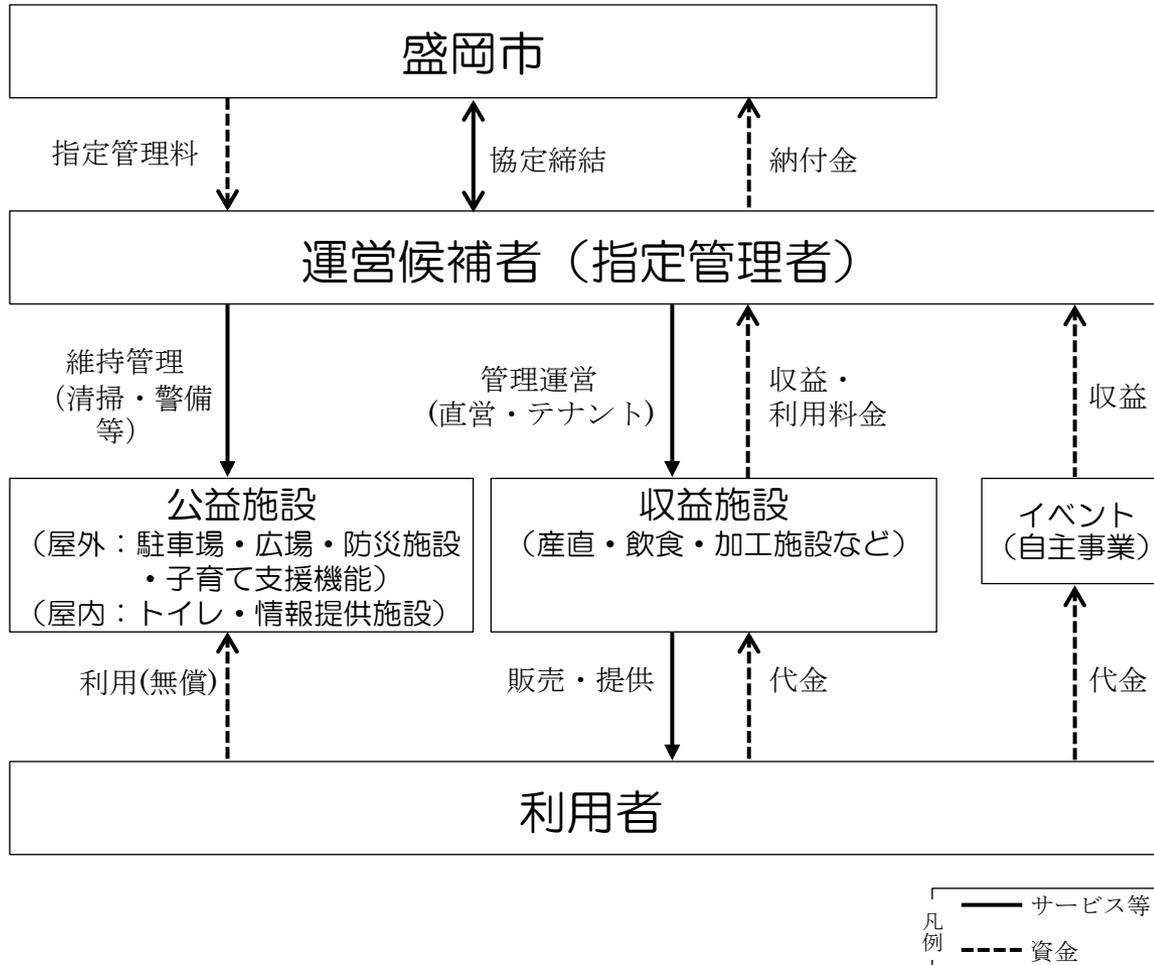
IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

運営候補者から指定管理者までの流れ (イメージ図)



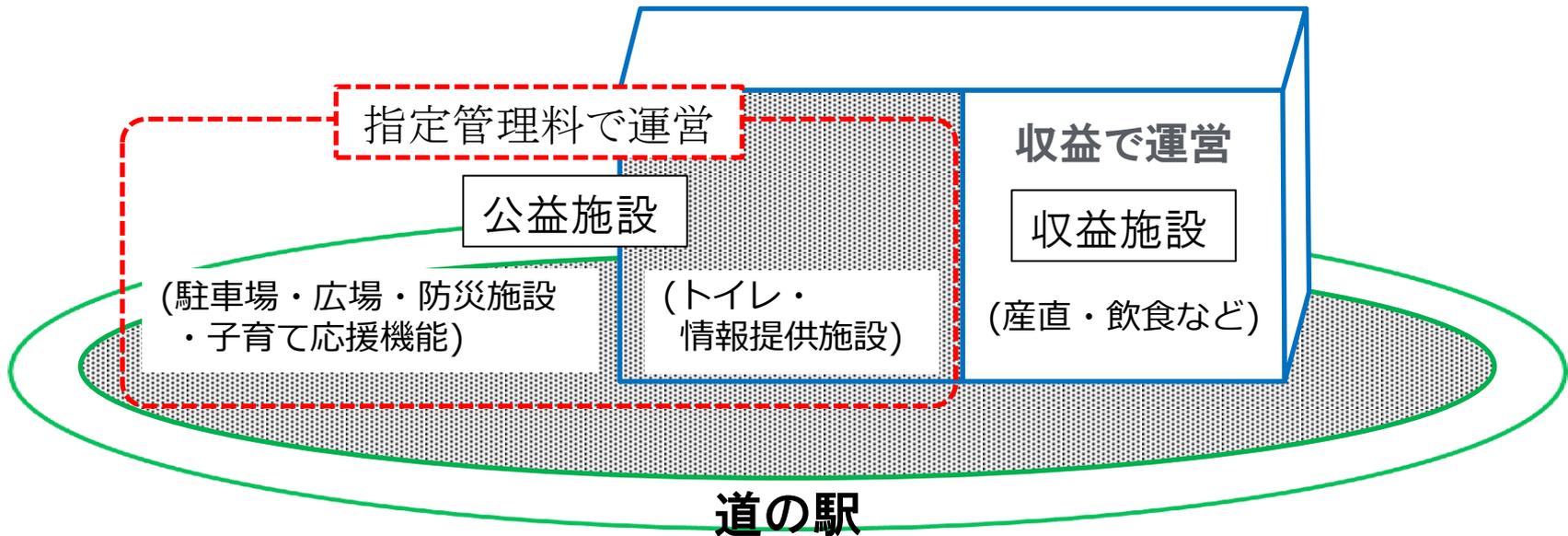
IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

2 施設の管理運営に関する経費，収益等の流れ（1）



IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

2 施設の管理運営に関する経費，収益等の流れ（2）



※ 国管理分については，別途協議するものとします



IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

3 運営候補者の募集に当たって

ポイント 1

運営候補者は、市の指定管理者制度の運用に準じ、市内に本拠を有する事業者（以下、「市内事業者」という）を優先的に取り扱うこととします。

ポイント 2

道の駅は市として初めての事業であり、市内事業者だけではノウハウやスキル等の面で必ずしも十分でないことも想定されることから、募集段階では運営候補者の所在地に制約は設けず、広く募ることとしています。

ポイント 3

地方創生や地域経済の振興など、より地域性のある運営実現の観点から、運営候補者の法人化や構成員の追加などを盛り込みました。

市内事業者

【優先的取扱】

- ・ 単独、グループ応募とも、審査の際、加点する。

市外事業者

【応募要件】

- ・ 市内事業者とグループで応募
 - ・ 単独の応募の場合は、運営候補者に選定後、市内事業者との運営組織を組成。
- ※ 市外事業者の単独応募は、加点しない。

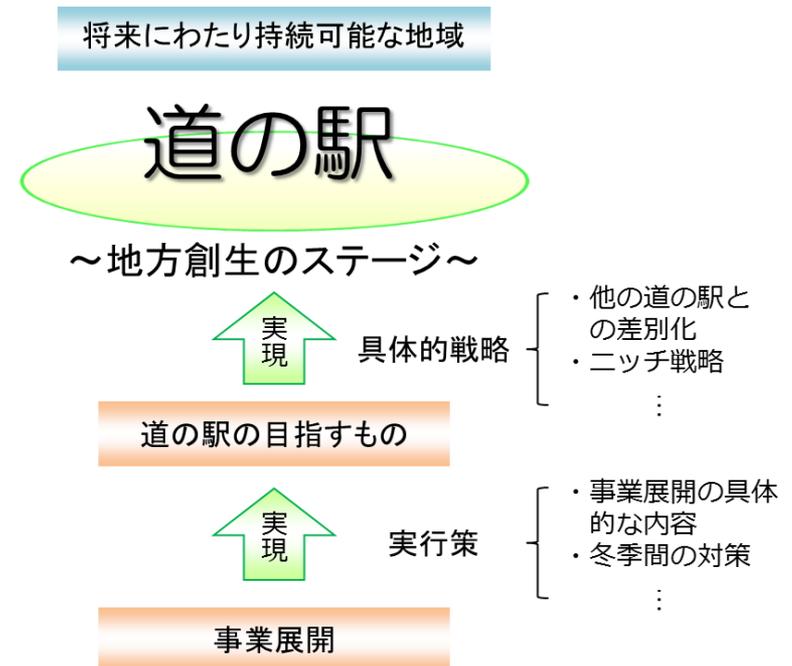


IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

4 事業提案に当たって

4-1 具体的戦略

- 市では、道の駅を「将来にわたり持続可能な地域を創るためのツール・ステージ」として位置付けています。
- 人口減少や少子高齢化，若者の流出など地域を取り巻く様々な状況の中で，道の駅が有する機能をフルに発揮し，地域経済の振興や人材育成，にぎわいの創出など，道の駅を核とした地域振興を目指しています。
- 他の道の駅との徹底的な差別化などにより，盛岡・玉山らしさと特徴のある道の駅を目指しています。



IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

4-2 地域振興への貢献

- 盛岡・玉山らしさのある、そして特徴ある道の駅とするためには、地域との連携が必須となります。
- 道の駅を運営するに当たって、地域とどのように連携するか、豊かな農畜産物や人材と言った地域資源をどのように活用するかが、ポイントになると考えています。
- また、近隣には大型商業施設や地元商店街、郷土の詩人「石川啄木」ゆかりの施設などが集積する立地であることから、これらの施設等と連携し相乗効果を発揮することで、地域全体の振興に結び付けようとするものです。
- 提案に当たっては、提案者が施設運営や事業展開を通じて、どのような地域貢献ができるのか、また、それがどのように地域振興へ派生するのか、魅力あるストーリーを提案していただきたいと考えています。



IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

4-3 経営・管理計画

- 具体的戦略と地域貢献を踏まえ、道の駅全体の施設配置や、地域振興施設のコンテンツ（導入機能）及びそのレイアウトを、施設像として提案してください。
- この際、基本計画の施設の整備方針や、提案者がフォーカスしたターゲット像を踏まえたうえで、「石川啄木」や眺望など地域資源や立地特性を生かした提案としてください。
- また、事業用地が市街化調整区域であることに留意してください。
- 道の駅の経営・管理に当たっては、（将来の指定管理者を前提として）運営候補者のノウハウや創意工夫が重要となります。自立・持続可能な経営・管理の考え方とともに、事業展開の計画に伴い将来的な事業者との連携について、提案してください。
- また、防災機能や子育て支援など、国土交通省が示す道の駅の機能への配慮についても加味してください。



IV (仮称)道の駅もりおか運営候補者募集要項の概要

4-4 収支計画

- 具体的戦略や地域振興への貢献，経営・管理計画の提案内容を踏まえ，収益施設の収支計画（5年分）を提案してください。
- 収益施設は，施設全体のうち指定管理料が発生しない部分を指します。また，施設の詳細（構造や規模，設備等）が決定していないことから，提案者が有する他施設の運営・管理の実績等に基づき作成してください。
- 初期投資については，指定管理の場合，公共が整備することになりますが，収益施設は商業的性格を有することから，市の仕様では魅力ある運営にそぐわない場合も想定されます。備品や設備等について，将来の運営を想定した負担区分を提案してください。
- 納付金は，施設を市が整備すること，魅力的な施設の維持には適正な維持管理が必要であることから，指定管理者の運営による収益の一部を納付金として市に納入していただきます。納付金の額の決定（算定）方法や納入方法，時期などについて考え方を提案してください。



V その他

1 道の駅への市民参加

- ・ 多くの市民に自分たちの道の駅であるという意識の醸成を図ります。
- ・ 外部有識者や市民などで構成する(仮称)道の駅整備懇話会を設置し、市と運営候補者の取り組みや道の駅づくりの進捗状況について、意見・提言を求めるほか、市民等へ情報発信を行います。
- ・ サポーター制度など、市民が道の駅の運営を支援する仕組みづくり

2 重点「道の駅」への提案

- ・ 重点「道の駅」の要件となる地方創生や子育て支援等を、本市も計画していることから、今後、重点「道の駅」への企画提案を検討します

3 市による特産品開発等の取組

- ・ 総務省の地域力創造アドバイザー制度活用し、市による特産品開発等の取組を令和元年度から実施しています。
- ・ さまざまな道の駅づくりの支援策として、運営候補者と協議の上、必要に応じて「地域おこし協力隊」の活用も検討しています。



VI スケジュール

運営候補者の募集・決定まで

